

北海道医療大学・札幌市立高等学校8校 「高大連携に関する包括協定書」調印式



札幌市立高等学校8校と高大連携に関する包括協定を締結【関連記事5ページ】

これからの薬学教育について



薬学部長 和田 啓爾

今年4月1日付で薬学部長を拝命いたしました。長年にわたり先人が築き上げてきた薬学部の輝かしい業績をさらに発展するために微力ではありますが、努力する覚悟でございます。さて、薬学教育は4年制から6年制へ移行し、教育内容は大きく変化しました。社会的ニーズに対応し、従来の学術的色彩の濃い教育から、医療現場を強く意識した医療人育成を重視した教育への転換です。この教育を具現化するために、教員の6分の1以上の実務家教員(臨床現場で5年以上の実務経験を有する)を配置し、薬学教育に臨場感のある教育ができる環境を構築しました。また、教育プログラムでは、6年間を通して態度教育を重視し、相手を思いやる心をもった医療人になるように種々の授業科目に多様なシーンを設定し、コミュニケーション能力を向上させる取り組みを実践しております。その成果は、卒業時の学生諸君の姿を見れば納得していただけると思います。また、高度医療に対応できる幅広い知識の習得とそれを

基盤とした技術、処理能力の向上も重要であり、その成果は、6年制教育初の国家試験において、高い新卒者合格率(95.9%)並びに学校別平均点でも全国の上位に位置し、教育内容も充実したものであることが証明されております。とはいえ、昨今の学力の多様性を背景に、すべての学生の学力を一律に向上させることは難しいのが現状です。そこで昨年、「薬学教育支援室」を設けました。専任教員(教授1名、講師2名)が面談により学生の特徴を把握し、個別に教育指導するシステムです。開設後、思いのほか需要があり、多数の学生が利用しています。この指導により、自力で学習できるようになり自信を持った学生も多いと聞いております。このように、本学では、学生個々人の能力に合わせた柔軟な教育システムで、社会のニーズに対応できる幅広い能力を持った医療人の養成に努めており、今後のさらなる発展を目指しております。

CONTENTS

これからの薬学教育について	1
リハビリテーション科学部の新設と 本学の将来構想について	2
新任教員・昇任教員紹介 Student Campus President 決定! カナダ・アルバータ大学語学研修レポート	4
高大連携に関する包括協定を締結 台北医学大学の表敬訪問 中央講義棟増築工事安全祈願祭 学園都市線電化開業に伴う記念式典に参加 「学生ボランティア事業」協定を締結	5
2013年度入試概要	6
2013年度歯科衛生士専門学校試験概要 2013年度編入学試験概要 2013年度大学院入学試験概要	7
授業レポート	8
私の学生時代	9
OG訪問[看護福祉学部臨床福祉学科]	10
STUDENTS' ACTIVITIES & EVENTS 新園種「ペイロネラトウベツエンシス」発見 千歳JAL国際マラソンで歯5年大井さんが優勝	11
TOPICS ○九十九祭で「ニッポン全国特産品市」開催 ○学校法人東日本学園後援会支部長会議開催 EDITOR'S NOTE	12

リハビリテーション科学部の新設と 本学の将来構想について

先進諸国、とりわけ日本で急激なスピードで進行している少子化および高齢化は、子育てや老人福祉などのあり方を、早急に解決すべき課題として私たちに迫っています。本学はこうした時代に即応するために、地域医療へ貢献する「新医療人育成の北の拠点」として、2013年4月にリハビリテーション科学部を新設(指定学校申請中)し、医療系総合大学としてさらに進化します。

リハビリテーション科学部の 設置背景と教育目的

少子化および高齢化は、これまでとは異なる枠組みで捉え直さなければならないさまざまな問題を、私たちに提起しています。日本では少子化が進む反面、発達障害などのある子どもが増加し、それによる特別支援教育希望者の増大、障害の重度化・重複化など、小児領域でのリハビリテーションサービスの整備・充実への要請が高まっています。一方、急激なスピードで到達した超高齢社会においては、高齢者の社会参加を保障する心身の健康維持・増進が重要な課題となっていくと考えられます。

とくに北海道では、地域特性である積雪・寒冷が高齢者の活動性と心身機能の低下を招いています。またその広域性は、保健・医療・福祉の関連機関と人材の供給・配置における地域間格

差を拡大させています。こうした地域特性から生じる問題の克服には、理学療法士や作業療法士による運動の習慣化を通じた日常の活動性の向上などが重要です。さらに、あらゆる医療従事者の連携と協働によって、肺炎、脳卒中、心筋梗塞などの疾病を誘発するリスクの高い生活習慣病の予防や、高齢期に特徴的な認知症やうつ病などの疾患を早期発見することが求められています。

すなわち、これからの地域社会においては、医学の進歩や医療の拡充、またチーム医療を実践できる制度や人材供給・配置が必要であることに加えて、1次予防(健康増進と疾病予防)、2次予防(早期発見と合併症対策)、3次予防(再発予防とリハビリテーション)に関する総合的知識と、リハビリテーション科学に基づいた技術をもつ専門職能人の育成が重要となっています。また、知識や技術だけではなく、豊かな教養と人間性が強く求められています。

本学は「新医療人育成の北の拠点を目指す」ことを行動目標として、1974年の開学以来1万5千人を超える卒業生を送り出してきました。リハビリテーション科学部は「保健と医療と福祉の連携・統合教育の推進」という本学の教育理念のもと、医療系総合大学ならではの教育資源を生かし、チーム医療を実践できる高度な理学療法士および作業療法士を養成することを目的とします。また、学内には新たな附属臨床施設を設置し、地域住民を対象にリハビリテーションを提供するとともに、リハビリテーション科学部の臨床教育にも活用する予定です。さらに、理学療法・作業療法分野では道内の私大で初となる大学院を開設し、すべての理学療法士・作業療法士を対象にキャリア支援を行うステージとして教育・研究活動を展開する予定です。これからの地域医療の発展に貢献するために、北海道医療大学はさらに進化します。

リハビリテーション科学部の 基本教育方針と特色

リハビリテーション科学部では、他学部と連携した教育を展開。医学的知識を学び他の専門職種への理解を深める医療系総合大学ならではのカリキュラムで、チーム医療を実践できる能力を育成します。また、地域社会へ貢献する人材を育成するために、コミュニケーション能力を高める演習を実施。臨床実習では、1年次から4年次まで多彩な領域を経験します。

[他学部との連携] [地域社会への貢献]



● 医科学系科目の充実

医療系総合大学ならではの教育資源を生かし、理学療法士・作業療法士に必要な生理学や解剖学などの知識と技術を深く学ぶことができます。歯学部との連携で人体解剖実習を行うなど、他学部で教育・研究活動を行っている教授陣が担当する科目も多数あり、ハイレベルな講義や演習を展開します。

● チーム医療の理解と実践

他学部の学生とグループワークやディスカッションを行う科目、看護福祉学部との連携で老年期ケアや小児ケア、ソーシャルワーク論などを学ぶ科目、心理学部との連携で心理学、社会的アプローチを学ぶ科目など、学部学科の枠を越えたカリキュラムを編成。多職種が連携するチーム医療を実践的に学びます。

● コミュニケーション能力の育成

薬学部や歯学部でも長年にわたって行われている、地域住民の方々の協力による模擬患者面接の演習を実施。実際の臨床の場面に極めて近い環境で医療面接の演習を行うことで、リハビリテーション専門職に求められる面接技術や対応力はもちろん、医療人に必要とされる豊かな人間性を育成します。



2012年7月29日の北海道新聞朝刊に対談記事が掲載
新川昭夫学長とFM北海道アナウンサーである千葉ひろみさんが、これからの地域社会とリハビリテーション科学部新設の関係について対談。その様子が記事として掲載されました。

2013年3月竣工予定の
新学部教育棟。最上階の
10階には、広大な石狩平
野を一望できる展望ラウ
ンジを整備。



● 臨床実習の重視

最先端医療設備を有する医療機関を実習施設として多数確保。入学後の早い時期から臨床現場を体験する機会を設け、幅広い視点から支援を行う能力を養うために、複数領域での実習を経験します。また実習の効果を高めるために、2・3年次にはOSCEを実施するなど事前・事後実習の充実にも力を入れます。

当別キャンパス 中央講義棟増築

リハビリテーション科学部の設置に伴い、既設の中央講義棟を地上10階建てに増築し、講義室・実習室を整備する予定です。

6階には、主に理学療法学科で使用する運動学実習室、物理療法実習室、評価治療室、運動療法実習室を設置。7階には、主に作業療法学科で使用する作業療法実習室、日常活動学実習室、基礎医学実習室、発達評価治療室、義肢装具学実習室を設置し、各階ともに学生数に対応したさまざまな機器・備品を配備します。

また、4階には、241名収容可能な大講義室を2室、LL教室を2室設置。5階には、216名収容可能な講義室を2室、129名収容可能な講義室を1室、90名収容可能な講義室を1室、45名収容可能な講義室を1室設置します。さらに最上階の10階には石狩平野を一望でき、試験勉強からクラブ・サークルの打ち合わせまで学生が自由に活用できる展望ラウンジを整備。本学の新たなランドマークとして、2013年3月に竣工する予定です。



中央講義棟増築の様子は、ブログで公開中です。
<http://milkyway.hoku-iryo-u.ac.jp/ctc/>

[理学療法学科] 入学定員：80名(予定) 4年制 (2014年より2年次編入制度があります)

[目標とする資格] 理学療法士

歯学部と連携した人体解剖実習をはじめ、医科学、薬学、福祉学、心理学など、医療系総合大学ならではの多彩な科目でヒトの動きを学びます。高度な理学療法を实践する知識や技術だけではなく、コミュニケーション能力も重視。他の学部学科で学ぶ仲間と行うディスカッション、障がいのある方々との対話、地域住民の方々が協力する医療面接の演習を設け、地域社会で活動する能力を養います。

[理学療法学科の特色]

- 医療系総合大学ならではの医学系科目、隣接科目が充実したカリキュラムです。
- 地域住民の方々や他学部で学ぶ仲間と接する機会が豊富です。
- 理学療法の基礎から多彩なアプローチまでを体系的に学びます。
- これからの時代に即応し多職種が連携する地域医療を学びます。
- 医療機関はもちろん保健・福祉施設でも臨床実習を行います。



[作業療法学科] 入学定員：40名(予定) 4年制 (2014年より2年次編入制度があります)

[目標とする資格] 作業療法士

作業療法士は、日常生活で行うさまざまな動作のリハビリテーションに加え、社会復帰のサポートも行う専門職です。本学科では他学部の教育資源を生かし、医学系科目を多数開講。さらに精神、心理面へアプローチする音楽療法、園芸療法や、他の専門職をめざす仲間とのディスカッションなど学部学科を越えたカリキュラムです。

[作業療法学科の特色]

- 医療系総合大学ならではの医学系科目、隣接科目が充実したカリキュラムです。
- プレゼンテーションやグループワークを積極的に学びます。
- 作業療法の基礎から多彩なアプローチまでを体系的に学びます。
- ニーズが高まる在宅医療にも対応し高度な実践力を育てます。
- チーム医療と地域医療の現場を1年次から体験します。



詳しくは、
リハビリテーション科学部の
パンフレットをご覧ください。

資料請求受付中!

理学療法学科・作業療法学科の特色や履修カリキュラムについて、詳しく紹介。また、入試概要(予定)や学費(予定)などに関する情報も掲載しています。

※入試概要は本誌6ページをご覧ください。

新任教員・昇任教員紹介

新任教員

平成24年7月1日付

歯学部 助教
(生体機能・病態学系(組織再建口腔科学)) 日野 純
任期制助手
(口腔機能修復・再建学系(咬合再建補綴学)) 中村 健二郎

平成24年9月1日付

リハビリテーション科学部 助教(理学療法学科) 長谷川 純子

昇任教員

平成24年7月1日付



歯学部教授
(口腔生物学系(生理学))

石井 久淑 (いしい ひさよし)

PROFILE

本学歯学部卒業。本学歯学部講師、同大学院歯学歯学研究科講師等を経て教授就任。歯学博士。

平成24年8月1日付



歯学部講師

(生体機能・病態学系(顎顔面口腔科学))

草野 薫 (くさの かおる)

PROFILE

本学歯学部卒業。同大学院歯学歯学研究科博士課程修了。京都府立医科大学附属病院研修歯科医、本学歯学部助教等を経て、講師就任。歯学博士。

〈学生キャンパス副学長制度〉

第5期Student Campus President 決定!

本制度は、より良い大学づくりを目指して、教員・職員とともに学生たちにも大学生活にかかわる各種プロジェクトの企画立案に参加してもらおうとスタートしたものです。今年のSCPが選任されましたので、ご紹介します。新SCPの活動状況については、随時、SCPホームページにて報告していく予定ですのでぜひご覧ください。なお、薬学部SCPについては、現在、立候補者を募集しており、決まり次第ご報告いたします。

SCPホームページ <http://scp.hoku-iryu-u.ac.jp/>

■Student Campus President <学生キャンパス副学長制度>について

- 活動 / ブランディングプロジェクトの企画・実施
 - キャンパスカンファレンスの実施
 - 国家試験対策
 - 学内施設・サービスの改善
 - ブランドグッズ・商品開発
 - エコ対策 等
- 人数 / 4名(各学部から1名)
- 任期 / 1年間(8月から翌年度7月)再任なし
- 選出 / 立候補による選挙制
- その他 / 活動室の利用、活動費支給、プレザー支給



歯学部 歯学科 2年

大平 禎 (おおだいら ただし)



看護福祉学部 臨床福祉学科 2年

下房地 宏 (したぼうじ ひろし)



心理科学部 臨床心理学科 3年

内村 元 (うちむら はじめ)



「変革の年へ向けて」

2013年にリハビリテーション科学部が新設され、本学は5学部8学科の医療系総合大学となります。

私は、学部・学科間の連携が出来る環境作りを目指します。保健・医療・福祉を担う学部・学科を越えた繋がりが、他の医療専門職を良く理解する上では欠かせない上に、このことを学生の時から意識することで、将来自分たちが行う他職種と連携するチーム医療に活かせることを確信しているからです。

垣根を越えた学生の方々と一緒に良い環境作りをしていこうと考えておりますので、どうぞ皆様ご協力の程よろしくお願い致します。

「医療大の持てる強さを活かす為に」

チーム医療の重要性が唱えられている現在、医療系総合大学であり、学生の段階から他職種を志す者達と交流できる、という本学の特徴は将来の医療人を育成するにあたっての大きな強みです。

しかし現状では、他学部の学問に触れる機会は、まだ一部の科目に限られています。SCPとして、本学の強さをより引き出すために、学生自らが能動的に動き、日常的に他学部の学生との交流を図る試みや、意見交換のできる講義の提案を実現したいと考えています。

皆様のご助力をいただきながら、考え、実践していけるよう努力して参りますので、よろしく願いいたします。

「誇りの持てる学生生活を」

私たちの学生生活が、学外の友人に自慢できるような、誇らしく思えるような、そんな大学づくりを目指します。学生が普段何気なく思っていることを大切にして、学生の声を発信し、それが身近に反映されるような取り組みを行っていきたく考えています。

心理科学部SCPは札幌あいの里キャンパスが活動の中心となりますが、他のSCPと協力し合いながら、大学全体の動きとなるようなアイデア・企画を実現できるよう頑張ります。一緒に、医療大に入学してよかった、医療大を卒業してよかったと思える学生生活を創造していきましょう。よろしく願いいたします。

REPORTS

English language & cultural seminar in Canada.

[University of Alberta]



カナダ・アルバータ大学語学研修レポート

去る8月4日(土)～8月24日(金)までの21日間にわたり、薬学部4名、看護福祉学部8名、心理科学部1名、計13名の学生と教員3名が、カナダ・アルバータ大学の語学研修に参加しました。研修を体験してきた学生たちの研修レポートをお届けします。

「あっという間の3週間」

●薬学部薬学科 5年 近江和加

今回の研修が初めての海外旅行だったので、ちゃんと英語を話せるか、3週間は長いなあ、ホストファミリーはどんな人だろうなど、不安がたくさんありました。しかし、カナダで過ごした3週間は毎日とても充実していて、本当にあっという間に過ぎました。午前中は英語の授業、午後は様々なアクティビティがあり、放課後は色々な所に遊びに行きました。Pharmacy Tourではカナダの薬学部のカリキュラムを教えてもらったり、実際に調剤薬局の中を見るなど、とても貴重な体験ができました。しかし、一番思い出深いのは2泊3日で行ったカナディアンロッキーです。たくさんのきれいな景色を見たこと、リスやヘラジカなどの野生動物に会ったこと、レイクルイーズでカヌーに乗ったこと。どれも忘れられない大事な思い出です。もし機会があれば、今回一緒に行ったメンバーでまたカナダに行きたいです。そして、今回の研修を通じてもっと英語を話せるようになりたいと思うようになりました。しかし、英語よりも苦労したのは蚊だったと思います。夏のカナダに行く人は、蚊に注意してください!

「カナダで得たもの」

●看護福祉学部看護学科 2年 米沢康佑

今回、3週間という短い期間でたくさんの経験をしました。午後のアクティビティでカナダの医療、文化、歴史について学び、日本との相違を考えることで自分の国についてより知ることができました。実際に英語が公用語として使われている国に身を置くことで、こんなことを英語で言えたらいいのに、これは英語でなんていうのだろうと思い、英語の勉強を頑張ろうというきっかけ、刺激になりました。これから英語の勉強を頑張り、またカナダに行きホストファミリーや現地の人ともっとたくさん話したいと思いました。またロッキーでの2泊3日やパーティや放課後にカナディアンフットボールの試合を見にいたりサイエンスにいったりしたことは、今後忘れることのない思い出です。そして学部学科、学年を越えてとてもよい人間関係に恵まれました。医療大学の人はもちろん、同じように語学研修できている日本各地の大学生と出会い、友達になれたのもこの研修の大きな収穫だと思います。本当に毎日が充実し、あっという間の楽しすぎる3週間でした。



札幌市立高等学校8校と高大連携に関する包括協定を締結しました

7月4日(水)札幌サテライトキャンパスにおいて、札幌市立高等学校校長会 守屋 開 会長と本学 新川 詔夫 学長により、高大連携に関する包括協定書への調印が行われました。

この協定は、札幌市立高等学校8校と本学の間で締結されたもので、大学と高等学校が相互に連携して、以下の連携事業を実施することを目的としています。

- 大学と高等学校の教育活動(授業等)に対する支援
- 大学と高等学校との共同研究の実施
- 大学と高等学校との連携にかかわる既存施設・設備の利用
- その他、必要とする連携

札幌市立高等学校8校

- 北海道札幌旭丘高等学校
- 北海道札幌開成高等学校
- 北海道札幌藻岩高等学校
- 北海道札幌清田高等学校
- 北海道札幌新川高等学校
- 北海道札幌平岸高等学校
- 北海道札幌啓北商業高等学校
- 市立札幌大通高等学校



台北医学大学の表敬訪問がありました

2004年から大学間交流協定を結んでいる、台北医学大学の張念中教授はじめ4名が6月27日(水)に来学しました。今回の来日は、5日間で東北・北海道の6大学を廻るスケジュールの中での本学来訪でした。

訪問時間が約3時間という限られた時間の中、午前9時に学長、副学長、学部長、事務局長と面会し、その後は本学の学部長、学部教員と相互交流に関する情報交換を行いました。

これまでの交流実績としては、歯学部で台北医学大学歯学部学生の短期留学を受け入れたことが主な実績でしたが、今回の来訪では薬学、歯学、看護学、医学、各分野の学生の研修先として具体的な打診がありました。また、本学から学部生、大学院生を派遣した際には台北医学大学で好意的に受け入れるとの申し出がありました。来訪は短時間でしたが、今後の交流拡充の契機となる貴重な時間となりました。



後列左から、ターノフ教授、安彦教授、廖さん、蕭講師、野川看護福祉学部長、和田薬学部長、半田教授、飛岡事務局長
前列左から、有末歯学部長、黒澤副学長、張教授、新川学長、陳教授、張教授の母上

「中央講義棟増築工事安全祈願祭」を挙行しました

7月2日(月)、本学中央講義棟玄関前において、リハビリテーション科学部新設(指定学校申請中)に伴う中央講義棟増築工事の安全祈願祭が執り行われました。

安全祈願祭では、廣重理事長、新川学長をはじめとした学内関係者、設計管理会社、施工業者、計47名が参列しました。大学を代表して廣重理事長、新川学長が玉串奉奠を行い、工事の安全を祈願しました。

中央講義棟は地上10階建てに生まれ変わり、平成25年3月に竣工する予定です。



「学園都市線電化開業に伴う記念式典」に参加しました

6月1日(金)JR石狩当別駅において「学園都市線電化開業に伴う記念式典」が開催されました。「記念式典」には、本学から新川学長をはじめとする役員並びに教職員、学生を代表してSCP(学生キャンパス副学長)看護福祉学部臨床福祉学科第3学年佐藤陽さんが参加しました。

当別町主催による記念イベントが開催され、引き続き、北海道旅客鉄道株式会社主催による出発式が執り行われ、出発式では、泉亭当別町長、内海道議会議員、高谷町議会議長、神北海道石狩振興局長、野島北海道旅客鉄道株式会社常務取締役、羽賀石狩当別駅長、宮澤選手(コンサドレ札幌)、新川学長によるテープカットが行われ、多くの町民並びに関係者から歓声と拍手が送られました。

10月1日には全車両が電化となり、運行時間は最大9分の短縮となります。



出発式 新川学長によるテープカット(右から2番目)

札幌市教育委員会と「学生ボランティア事業」協定を締結しました

本学はこのたび、札幌市教育委員会と「学生ボランティア事業」協定を締結しました。

これは小・中学校における教育活動を支援する学校外からの参加・協力の一方策として、本学の主に教職課程を履修する学生を対象にボランティアを募集し、各学校へ派遣することを通じ、子供一人一人の状況に応じた支援を期待するとともに、本学学生のボランティア意識の高まりや資質の向上、さらには将来、教職に就く上での動機付けを目的とするものです。

このことに基づき5月11日(金)、協定締結にかかわる調印式が札幌市教育委員会にて行われました。

本学からは学長の代理として野川看護福祉学部長と白石教職運営委員長が出席し、札幌市教育委員会の北原教育長より野川学部長へ協定書が手渡されました。



2013年度 入試概要

本学独自の「夢つなぎ入試」で経済的支援

昨年度に引き続き、今年度も条件により初年度入学金の全額と授業料の半額を免除する「夢つなぎ入試」を、一般後期とセンター後期入試において実施します。昨年度は合計38名が支援対象となりました。

「歯学部特待奨学生」は学納金が大幅に減免

将来、歯科医学・歯科医療の分野をリードするという高い志を持った方を支援するため、「歯学部特待奨学生」制度をセンター前期Aと一般後期Bにおいて実施。対象者は卒業までの学納金が国公立大学と同水準となります。

一般前期入試は「試験日自由選択制」を導入

一般前期入試は2日間実施しており、両日とも受験できるのでチャンスが2回あります。検定料は両日受験でも1日のみの受験でも同じく3万円。複数学科の併願も可能で、すべての学科を受験しても追加の検定料は一切かかりません。

推薦入試と一般入試は全国各地で実施

推薦入試は本学、帯広、北見、函館、仙台、東京、大阪、那覇の全国8会場で実施(指定校特別推薦の試験会場

は、学生募集要項でご確認ください)。また、一般前期入試は札幌、旭川、帯広、北見、函館、青森、秋田、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡の全国13会場で実施します。

センター利用入試はチャンスが3回

前期A、前期B、後期の3回実施しています。大学独自の個別試験は行わず、本学が指定する科目の大学入試センター試験の得点のみで合否判定を行います。

また、同一入試形態内での併願が可能。追加の検定料はなく1万5千円で全学部全学科受験できます。さらに前期AとBの両方の入試形態に出願することもできます。

一般入試とセンター入試の併願が可能

一般前期入試とセンター前期A・B入試の併願や、一般後期入試とセンター後期入試の併願ができます。

合格のチャンスは合計7回

全学科でAO方式入試をはじめ7回の入試を実施しています(歯学部のみ8回)。

AO方式入試は学業だけでなく、クラブ活動や資格取得状況なども評価。高校卒業程度認定試験(大学入学資格

検定含む)の合格者も受験できます。また歯学部・臨床福祉学科・歯科衛生科では事前エントリーの受付を行います。

一般推薦入試は、調査書、小論文、面接などで合否判定を行います(詳しくは学生募集要項でご確認ください)。

一般入試は前期、後期の2回実施。また、歯学部のみ後期B入試も実施しています。

センター利用入試の前期Aは、センター試験前日までに。前期Bと後期はセンター試験終了後に。出願期間がはじまるので、実際に手ごたえのあった教科で受験できます。

インターネット出願を実施

センター前期B、一般後期、センター後期で実施しています。詳細は、学生募集要項でご確認ください。

AO方式入試で事前エントリーを受付

歯学部歯学部・看護福祉学部臨床福祉学科のAO方式入試の3期に分けて実施し、それぞれで事前エントリーを受け付けます。事前エントリーをすると、早期に出願許可を得られるだけではなく、1次試験(書類審査)と2次試験の面接が免除となります。

■2013年度 北海道医療大学入試概要

	薬学部 薬学科 【募集定員 160名】		歯学部 歯学科 【募集定員 80名】		看護福祉学部 看護学科 【募集定員 100名】		臨床福祉学科 【募集定員 80名】		心理科学部 臨床心理学科 【募集定員 75名】		言語聴覚療法学科 【募集定員 60名】		リハビリテーション科学部 理学療法学科 【募集定員 80名】		作業療法学科 【募集定員 40名】					
	募集定員	試験日	募集定員	試験日	募集定員	試験日	募集定員	試験日	募集定員	試験日	募集定員	試験日	募集定員	試験日	募集定員	試験日				
AO方式入試※1	17名	2012年10月7日(日)	20名	2012年12月19日(水)	6名	2012年9月28日(金)	15名	2012年10月12日(金)	5名	2012年9月28日(金)	12名	2012年12月13日(木)	16名	2012年12月21日(金)	8名	2012年12月21日(金)				
	合格発表日														1次:2012年9月28日(金) 2次:2012年10月12日(金)		1次:2012年12月13日(木) 2次:2012年12月21日(金)			
	試験会場(受験地)																本学(当別キャンパス)		札幌	
推薦入試	一般20名 ※2 指定校特別25名	2012年11月11日(日)	一般8名 ※2 指定校特別8名	2012年11月16日(金)	一般16名 ※2 指定校特別16名	2012年11月16日(金)	一般10名 ※2 指定校特別14名	2012年11月16日(金)	一般12名 ※2 指定校特別8名	2012年11月16日(金)	一般7名 ※2 指定校特別7名	2012年11月16日(金)	一般16名	2012年12月2日(日)	一般9名	2012年12月2日(日)				
	試験会場(受験地)																本学(当別キャンパス)・帯広・北見・函館・仙台・東京・大阪・那覇 ※ただし、指定校特別推薦は一部会場のみ。		札幌・帯広・北見・函館・仙台・東京・大阪	
一般前期入試	65名	2013年1月30日(水)	25名	2013年1月31日(木)	40名	2013年2月9日(土)	23名	2013年2月9日(土)	27名	2013年2月9日(土)	14名	2013年2月9日(土)	43名	2013年2月9日(土)	19名	2013年2月9日(土)				
	試験会場(受験地)																札幌・旭川・帯広・北見・函館・青森・秋田・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡			
一般後期入試(B※歯学部のみ)	5名	2013年2月28日(木)	一般後期4名 一般後期B5名	2013年2月28日(木)	5名	2013年2月28日(木)	5名	2013年2月28日(木)	5名	2013年2月27日(水)	4名	2013年2月27日(水)	5名	2013年2月27日(水)	4名	2013年2月27日(水)				
	試験会場(受験地)																札幌・東京・大阪			
センター前期A入試	15名	本学独自の個別試験は実施しない														-				
	合格発表日																2013年2月9日(土)		-	
センター前期B入試	10名	本学独自の個別試験は実施しない														-				
	合格発表日																2013年2月9日(土)		-	
センター後期入試	3名	本学独自の個別試験は実施しない														-				
	合格発表日																2013年3月7日(木)		-	

※1 歯学部・臨床福祉学科はⅡ期、Ⅲ期の出願があります。 ※2 指定校特別推薦は指定校制です。募集要項等は、直接指定校のみに配布しますので、詳細は各高等学校へお問い合わせください。
※3 一般前期入試の試験日は2日間設定しており、出願時に希望する試験日を登録できます。

■センター利用入試(前期A)の指定教科・科目

学部・学科	教科	科目
薬学部 (薬学科)	外国語	「英語」
	数学	「数学I・A」、「数学II・B」から1科目選択
	理科	「化学I」、「生物I」、「物理I」から1科目選択
看護福祉学部 (看護学科/臨床福祉学科)	外国語	「英語」
	数学・国語	「数学I」、「数学I・A」、「数学II」、「数学II・B」、「国語(近代以降の文章)」から1科目選択
	理科・地理 歴史・公民	「化学I」、「生物I」、「物理I」、「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択

【備考】●「英語」については、筆記試験のみを対象とし、リスニングテストは含まれません。
●薬学部の「数学」「理科」については、センター試験の得点を2倍にして計算します。
●各教科・科目で2科目以上受験した場合は、最も高得点の科目を合否判定に使用します。

■センター利用入試(前期B・後期)の指定教科・科目

学部・学科	教科	科目
薬学部 (薬学科)	外国語・数学	「英語」、「数学I・A」、「数学II・B」から1科目選択
	理科	「化学I」、「生物I」、「物理I」から1科目選択
看護福祉学部 (看護学科/臨床福祉学科)	外国語・数学・国語	「英語」、「数学I」、「数学I・A」、「数学II」、「数学II・B」、「国語(近代以降の文章)」から1科目選択
	理科・地理 歴史・公民	「化学I」、「生物I」、「物理I」、「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択
	心理科学部 (臨床心理学科/言語聴覚療法学科)	

【備考】●「英語」については、筆記試験のみを対象とし、リスニングテストは含まれません。
●「英語」以外の科目は、センター試験の得点を2倍にして計算します。
●各教科・科目で2科目以上受験した場合は、最も高得点の科目を合否判定に使用します。

2013年度

歯科衛生士 試験概要

AO方式入試エントリー受付中。各入試の試験会場は道内各地。

本年度も歯科衛生士専門学校では、AO方式入試においてエントリーを受け付けます。推薦入試を10月・11月と2回実施し、推薦入試II期は本校・帯広・北見・函館の4会場、一般前期Aは札幌・帯広・北見・函館の4会場、一般前期Bは札幌・旭川・帯広・北見・函館の5会場で実施します。また、AO方式入試・推薦入試において早期に申し合格した方は、入学金20万円の半額が減免となります(人数に制限があります)。

■2013年度 北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校入学試験概要

募集定員	AO方式入試	推薦入試		一般前期入試(A日程)	一般前期入試(B日程)	一般後期入試
		I 期	II 期			
	20名	17名		5名	5名	3名
試験日	エントリーシート提出後、面接を実施	2012年10月7日(日)	2012年11月11日(日)	2012年12月2日(日)	2013年1月31日(木)	2013年2月28日(木)
合格発表日	出願受付後10日以内に通知	2012年10月12日(金)	2012年11月16日(金)	2012年12月5日(水)	2013年2月6日(水)	2013年3月7日(木)
試験会場	本校(当別キャンパス)他	本校(当別キャンパス)	本校(当別キャンパス)・帯広・北見・函館	札幌(札幌サテライトキャンパス)・帯広・北見・函館	札幌(札幌コンベンションセンター)・旭川・帯広・北見・函館	札幌(札幌サテライトキャンパス)

2013年度

編入学 試験概要

すべての学科で、編入学を受け入れています。

本学は、一般の入学試験とは別に、専修学校や短期大学を卒業した方(卒業見込み者含む)、または大学在学中(2年以上、62単位以上修得)の方、さらに一度社会に出たけれども専門知識や能力をより高めたいと考えている方を対象に、2年次、3年次編入学試験を実施しています。一般選抜のほか、社会人特別選抜も実施しています。また、編入学試験は毎年2回行われており、I期で不合格であってもII期で再チャレンジすることができます。

■2013年度 北海道医療大学編入学試験概要

募集定員	薬学部(3年次編入)	歯学部(2年次編入)	歯学部(3年次編入)	看護福祉学部(3年次編入)		心理科学部(3年次編入)	
	●薬学科 [募集定員 10名]	●歯学科 [募集定員 若干名]	●歯学科 [募集定員 若干名]	●看護学科 [募集定員 9名]	●臨床福祉学科 [募集定員 9名]	●臨床心理学科 [募集定員 2名]	●言語聴覚療法学科 [募集定員 10名]
I 期	7名	若干名	若干名	6名	6名	2名	7名
試験日	2012年11月11日(日)						
合格発表日	2012年11月16日(金)						
試験会場	本学(当別キャンパス)・東京・大阪						
II 期	3名	若干名	若干名	3名	3名	若干名	3名
試験日	2013年1月31日(木)			2013年1月30日(水)			
合格発表日	2013年2月9日(土)						
試験会場	札幌・東京・大阪						

2013年度

大学院入学 試験概要

各研究科とも、博士課程まで設置されています。

本学の大学院には、薬学・歯学・看護福祉学・心理科学の4研究科があり、すべての研究科において一般入試と社会人入試があります。また、歯学研究科では「研究コース」に加え「認定医・専門医養成コース」もあり、研究者だけでなく、認定医・専門医育成の体制も整っています。看護学専攻修士課程では、専門看護師(CNS)、ナースプラクティショナー(NP)の教育課程も設置しています。

■2013年度 北海道医療大学大学院入学試験概要

	募集定員	薬学研究科	歯学研究科	看護福祉学研究科	心理科学研究科
		●生命薬科学専攻[修士課程] ●薬学専攻[博士課程]	●歯学専攻 ※1[研究コース/認定医・専門医養成コース]	●看護学専攻 ●臨床福祉学専攻	●臨床心理学専攻 ●言語聴覚学専攻
修士課程	第1回	一般入試: 3名(社会人を含む) 社会人入試: 3名(一般を含む)	—	一般入試: (看護学)15名(臨床福祉学)5名(社会人を含む) 社会人入試: (看護学)15名(臨床福祉学)5名(一般を含む)	一般入試: (臨床心理学)10名以内(言語聴覚学)3名(社会人を含む) 社会人入試: (臨床心理学)10名以内(言語聴覚学)3名(一般を含む)
	試験日	2012年11月14日(水)	—	2012年9月25日(火)	2012年9月19日(水)
	合格発表日	2012年11月22日(木)	—	2012年10月2日(火)	2012年9月26日(水)
	第2回	一般入試: 若干名(社会人を含む) 社会人入試: 若干名(一般を含む)	—	一般入試: (看護学)若干名(臨床福祉学)若干名 社会人入試: (看護学)若干名(臨床福祉学)若干名	一般入試: (臨床心理学)若干名(言語聴覚学)2名(社会人を含む) 社会人入試: (臨床心理学)若干名(言語聴覚学)2名(一般を含む)
	試験日	2013年1月21日(月)	—	2013年1月22日(火)	2013年1月24日(木)
	合格発表日	2013年1月25日(金)	—	2013年1月25日(金)	2013年1月30日(水)
博士課程	第1回	一般入試: 3名(社会人を含む) 社会人入試: 3名(一般を含む)	一般入試: 14名(社会人を含む) 社会人入試: 14名(一般を含む)	一般入試: (看護学)2名(臨床福祉学)2名(社会人を含む)	一般入試: (臨床心理学)2名(社会人を含む) 社会人入試: (言語聴覚学)2名(一般を含む)
	試験日	2012年11月14日(水)	2012年9月27日(木)	2013年2月12日(火)	2013年2月13日(水)
	合格発表日	2012年11月22日(木)	2012年10月3日(水)	2013年2月15日(金)	2013年2月20日(水)
	第2回	一般入試: 若干名(社会人を含む) 社会人入試: 若干名(一般を含む)	一般入試: 4名(社会人を含む) 社会人入試: 4名(一般を含む)	—	—
	試験日	2013年1月21日(月)	2013年2月14日(木)	—	—
	合格発表日	2013年1月25日(金)	2013年2月20日(水)	—	—
	第3回	—	一般入試: 若干名(社会人を含む) 社会人入試: 若干名(一般を含む)	—	—
	試験日	—	2013年3月13日(水)	—	—
	合格発表日	—	2013年3月19日(火)	—	—

[試験会場] 薬学研究科・歯学研究科・看護福祉学研究科は当別キャンパス、心理科学研究科は札幌あいの里キャンパスで実施します。

※1 研究コースは一般入試および社会人入試、認定医・専門医養成コースは一般入試のみの実施になります。

授 業 レ ポ ー ト

看護福祉学部 **看護学科** [4年制]

老年看護学実習
3・4年次 必修

今回のレポーターは

札幌西円山病院第10病棟で老年看護学実習中の4年生。左から植村駿さん(秋田工業高校出身)、梅田彩花さん(小樽潮陵高校出身)、松原美香子さん(北海高校出身)、佐用みどりさん(石狩南高校出身)。最終週に入った実習現場からのレポートです。



伝わらないもどかしさと、伝わる喜び、人生の大先輩からいただくものは全てが大きい。

疾患より人間にフォーカス。

「老年看護学実習」は全4週間、介護老人保健施設やグループホームなどの施設で1週間の実習後、長期療養型の病棟で3週間、マンツーマンで患者さんを担当します。

老年看護学の特徴は、日常生活の質の維持・向上の視点を大切にすることです。めざすのは、病院という環境下で可能な限りその人らしい生活ができる環境をととのえること。そのために患者さんのこれまでの暮らし、好みを知り、尊重することが基本です。患者さんの戦時中の話など私たちはイメージが難しいこともあります。じっくり向き合うと“人生の大先輩”として敬う気持ちが自然にわいてきます。

たとえ毎日「はじめまして」でも。

私たちはそれぞれ担当患者さんの状態に合わせて、より快適に過ごしていただけるよう工夫をします。松原さんは車イスを使う患者さんと一緒に広い院内を散策しました。18病棟からなる広い札幌西円山病院ですが、患者さんは意外に院内を知りません。随所に飾られている絵画、季節の花々を眺められる絶景スポット、くまなく巡ると予想以上に見応えがあります。患者さんは「病院探検」と呼んで、喜んでくださいました。



ミニコンサート開催に向けて、「毎週金曜日の帰校日のほか、それぞれ自宅で、休日はカラオケボックスに集まって準備、練習しました。どうなるか不安でしたが、患者さんと協力して楽しいひとときが作れました♪」



松原さんの担当患者さんは「来週から編み物を始めるのよ」とうれしそう。「編み物がしたい」という希望に、作業療法士と連携して応え、病院探検の次の楽しみをつくりました。

一方、認知症が進み、コミュニケーションが難しいケースもあります。毎日、患者さんに何度も自己紹介している実習生もいます。最初は困惑しますが、「気持ちは通じる」と気づかせてくれるのも患者さんなのです。たとえ1時間後には忘れられても、私たちが関わることで患者さんが心から笑う、喜ぶ場面が必ずあります。お世辞も作れないピュアな表現だけに、実習生には何よりのご褒美、励みです。そんな1コマ1コマを積み重ねて患者さんの生活全体の向上に力になりたい、誰もがそう思っています。

ミニコンサート開催。

実習中は班単位で様々な取り組みをします。私たちは音楽レクリエーションを2回企画しました。1回目は歌、2回目は楽器を加えました。デイルームを飾り付け、患者さんに鳴子やタンバリン、手作りマラカスを配り、「花」「おぼろ月夜」「海」を一緒に演奏しました。楽し



病棟の看護師長や先輩ナース、本学教員とのカンファレンス。1日を振り返り、疑問や不安はできるだけその日のうちに解消します。

そうに口ずさむ患者さんはもちろん、リズムに合わせて見逃しそうに小さな動きで鳴子を振る患者さんもありました。終了後、一人ひとりに声をかけると、表情が乏しくても大きなリアクションがなくても、近くで過ごしたから気づくことのできるうれしい反応がたくさんありました。老年看護学実習は誰かに何かが伝わる幸せが、深く心に染みる実習です。エールを胸に、この環境に恥じない看護学生になれるよう精進します!



「私たちの何倍もの経験を積んできた患者さんの価値観を理解するのは難しいのですが、向き合い、寄り添う看護の原点に触れる実感があります」(植村さん)。

担当教員より

老年看護学実習の醍醐味 —「もてる力」への着眼と高齢者の喜び

● 山田 律子 教授

老年看護学実習では、高齢者の「もてる力」に着眼した看護展開を大切にしています。例えば、ある学生は、食事介助を受けていた高齢者が手で口元を拭いていたことを見逃さず、自らの手で食べる楽しみを取り戻す環境を整え、さらにお洒落な人だったことを知り、化粧へと発展、その方の行動も拡大していきました。実習終了時、その方は「ありがとう」を連呼し、学生の手を強く握り締めて離れませんでした。

学生によるレクリエーションの企画も好評です。日常とは異なるイベントが、高齢者の新たな「もてる力」を引き出し、参加者同士の交流を深め、時には感動の涙もこぼれます。実習で逞しく成長した学生たちの姿を見ることは、教員たちの醍醐味でもあるのです。

クラブ活動とアルバイト、そして宴会芸に磨きをかけた学部の学生時代、一転、学問づけの大学院生時代

歯学部
歯学科

教授 安彦 善裕



大学生の6年間は、実家のある福島市から比較的近い郡山市にある東北歯科大学(現:奥羽大学)で過ごしました。入学と同時に新しいことをやってみたく、なんとなく「アーチェリー部」に入部致しました。練習は毎日、土曜日当然、休みは日曜日の試合の無い時くらいでクラブ活動中心の生活が始まりました。4年時にはキャプテンも務め、総勢30名程度の部員をまとめるのに、先輩にはお伺い



大学院生時代。電子顕微鏡を用いた研究を主にしていた。

をたて後輩には気をつかい、今思えば、社会人のトレーニングの場として良い経験をさせて頂いたように思います。幸い、野外での練習でナイター設備があったわけでもなく、日没後は練習が出来ませんでしたので、夜の時間はフルに使えました。そうかと言ってアパートに戻り勉強などするはずもなく、ミスタードーナツ、割烹、家庭教師などのアルバイトを活発に行い、空いた時間は友達同士アパートや下宿に集まって酒を飲みながら宴会芸に磨きをかける日々でした。今思うと学生時代は学問をしたと言うより人と人の触れ合いを楽しみ、人間関係のあり方を学ばされた6年間であったように思います。それでも、解剖、病理、口腔外科は医学を学んでいるという感覚が強かったため好きで、それなりに勉強した記憶があります。そこで、大学院は歯学部では珍しく病理解剖の数が多く東京歯科大学を選びました。病理診断の数も多く、より専門的な知識が要求され、ある程度の責任をもたされましたので、学生時代とは一転、勉強せざるを得



学生時代。部活はアーチェリー部に所属し、夜は宴会芸を磨いていた。

ない環境となりました。日中は病理業務(病理解剖と診断)に費やされ、肝心の研究のための実験を行うのは早朝か夜遅くという日々でした。また、周囲の先生の多くが英語を話すことにショックを受けたのも大学院に入学してからです。70体を超える病理解剖の経験で得られた全身疾患の知識は、現在の「口腔内科」の外来に直接的に役立っており、研究をして論文に自分の名前の載る楽しさや、それまでは留学など全く眼中になかった私を自主的に2年半のカナダ留学に向かわせたのもこの時の経験からです。

人間関係を学んだ歯学部、キャリア形成の場であった大学院、これが私の学生時代です。

私の学生時代

今、本学の教壇に立たれている先生たちは、学生時代をどのように過ごしていたのでしょうか。今回は安彦教授と堀内教授のお二人に、当時の様子を語っていただきました。

私の学生時代

心理科学部
臨床心理学科

教授 堀内 ゆかり



高校生までの私は、がむしゃらでないけれど、親を喜ばせたい、親に認められたい気持ちで勉強していたと思います。農家の息子である父と漁師の娘である母は、ともに教師で、長崎県の小さな田舎では親族の自慢でした。叔父や叔母も教師だらけ。「先生」と呼ばれる仕事に就くのはある意味当然の環境で私は育ちました。

高校生で訪れた大きな反抗期に、九州外の大学進学に反対する親を離れた一心で、大学



留学先にて。仲良くしてくれたスイトメイトと(右端が私)

の先生になるためには大学院博士課程に行く必要があって、そのためには最適な進学先だと説得し、筑波大学に入学しました。よくわからないで選んだ心理学を専攻するにはそれなりに悩みましたが、夜通し語り合える友人と出会い、知りたいことがわかる楽しさを初めて知りました。数えきれないアルバイト、毎日のように違うサークル活動、必要以上の単位と2科目の教員免許、やりたいと思うことは何でもやりました。毎日が充実して寝る時間をもたない思いでした。大学院進学に本腰を入れようとした3年生が終わる頃、4年生夏から留学するチャンスが訪れました。帰国した時は5年生。4年生で大学を卒業する約束で家を出たので、3年生の春休みにかけて毎晩親に許可を得る電話をかけました。携帯電話のない時代、アパートの共同電話だと時間が限られるので、夜な夜な公衆電話から、後悔することは絶対ないからと言い続けましたが、外国に対する偏見が強く、仕方ないと呆れ返られるまで1か月かかりました。親の言うことをきかないじゃじゃ馬娘は、つば万博の売店売



部活では茶道、華道、なぎなた、スキー、卓球に熱中した(前列左が私)

り子で生活費を稼ぎ、ニューヨークの州立大学に1年間留学しました。何もかもが新鮮で、寮のスイトメイトと夜通し語り、みんなが寝てから英語の勉強と授業の課題をやりました。今では悪友となったルームメイトを、自分でも驚くほど英語で激しく言い争い、ベットに突っ伏して泣かせてしまったことが思い出されます。寝る時間が本当に本当にもたないなくて、3時間程度だったと思います。

知りたい、やりたいことに懸命になって、その結果がどこかに貢献・還元されることの価値がわかるようになり、あてがわれたことに努力することの価値も一層わかったような気がする貴重な学生時代でした。

OG訪問

PSW(精神科ソーシャルワーカー)が運転する焼きたてパンを満載したバンを追いかけて始まった今回のOG訪問。看護師として働いた後、本学に編入学、現在はボーダーレスな活躍を繰り返す多才なPSW・小畑さんをご紹介します。

社会福祉法人さっぽろひかり福祉会 ひかり工房 副施設長

小畑 友希さん (1997年看護福祉学部医療福祉学科
医療福祉専攻(現臨床福祉学科)卒業)



■ スーパー・ソーシャルワーカー

午前10時、取材班を迎えてくれた直後にバンを駆って配達に向かった小畑さんは、札幌市東区「ひかり工房」の副施設長を務めるPSW(精神科ソーシャルワーカー)です。「ひかり工房」は「(社福)さっぽろひかり福祉会」が精神障がい者の所得保障と就労支援を目的に運営するパン屋さん。精神障がいや発達障がいのある当事者が製造・販売部門で35名、職員としても4名働いています。小畑さんは全員の個別支援計画の作成、管理、日常的フォロー、個人面談、働きやすい環境づくりというPSWの役割を全て担うほか、抜群の営業センスを発揮して適正価格での販売や商品デザインにも貢献しています。もちろん、必要に応じて納品や製造も行います。さらに、商品開発、市内の大学デザイン学科とのコラボによる「ひかり工房」ブランド開発・デザインプロジェクトを手がけるほか、各地から舞い込む講演依頼に積極的に応える、人気スピーカーでもあります。



この日の午前には市内3カ所に納品。札幌・地下鉄大通駅コンコース内「元気ショップ」に並ぶひかり工房のパンやクッキーは30アイテム以上。売り場で目を引くプライスカードは小畑さんの手書きです。

■ 「働けない」を越えてみる

ひかり工房がめざすのは当事者が働き、収入を得て自立すること。小畑さんは「障がいがあるから働けないではなく、働くことを前提に支援を考えます。当事者と一緒に関わりようになって、人と

して生きることから“働く”ことははずせないと思うようになりました」と、ハード、ソフト両面から働き続けられる職場環境づくりを進めてきました。職場内の細々したトラブルや困りごとをPSWの目でしっかり見守りつつも介入は必要最小限にとどめ、自分たちで問題解決する力がつくよう関与しました。「世話を焼くのではなく、当事者同士が支え合う仕組み作り、維持が私の仕事ですから」。小畑さんが担当しておよそ8年。工房は各人が責任をもって仕事をし、ベテランが新人に教え、困ったときは相談し合う、ごくふつうの職場として自律しています。

■ 「ちょっと上」コーチング

「持っている能力の10%しか出せていないと思う人がほとんど。その分伸び代が大きいんです」と、小畑さんは当事者に対し、少し高めでも越えられるハードルを設定します。クリアできた自信の積み重ねで潜在能力発掘をねらうのが小畑流コーチングです。金曜日の朝、工房で働く若者の母親から「疲れているので休ませます」と電話があっても、「そうですか、お大事に」とは言いません。「金曜日はみんな疲れているんです。遅れてもいいから出てきてくださいね」と返すのが小畑さん。前日までの様子をきちんと見ているからできる厳しさや許容のさじ加減が見事です。

ひかり工房での就労をきっかけに親元から自立し一人暮らしを始めた人、一般企業へ就職を果たした人、成果は続々と出ています。

■ つながり方をコーディネート

小畑さんは医療、行政、福祉関係機関はもちろん、同法人の後援会でもある地元町内会、企

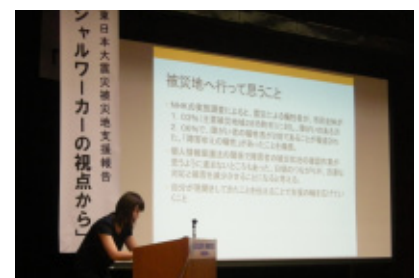


午後はラスクづくりのヘルプ。生き生きした職場から体と心によさしい商品が生まれます。全国的にも注目される、標準より高い平均工賃(賃金)は、障がいの仕事への対価が低く見積もられがちな現状への小さな、でも重い「NO」表明です。

業、教育機関など多彩な組織や人と連携しています。「私一人の力で自己完結したら自己満足しか生まれません。他とつながることでものごとが展開していくところに面白みがあるんです」。小畑さんコーディネイトによるソーシャルワークとビジネスの融合、商品やブランド開発のゆくえが楽しみです。

卒業後15年の本学とのつながりも健在です。臨床福祉学科同窓会会長を務めるほか、同学科精神保健福祉士コース外部講師として、また実習の指導担当として(ひかり工房は現場実習協力施設の一つです)後輩育成にも意欲的です。

ソーシャルワークを核にした八面六臂の活躍に「なんだか仕事が生きがいみたい」と苦笑する小畑さんですが、天職と呼べる仕事を存分に楽しむ生き方に仕事人の潔さを見ました。



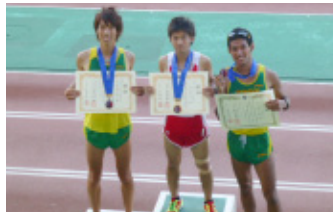
東日本大震災では、直後に障がいのある方の被災状況調査に現地入り。7月の「ソーシャルワーカーデー2012」(札幌)でも支援のあり方についてプレゼンしました。

クラブ 今年もたくさんのクラブが各大会で大健闘!

■2012年度クラブ戦績

団体名	月 日	大会名	参加種目	戦 績
ウエイト トレーニング部	5/27	全道春季北海道パワーリフティング選手権大会	男子(59kg級)	1位(全日本大会出場)
	6/10	第39回 全日本学生パワーリフティング選手権大会	男子(59kg級)	3位
バドミントン部	7/14~7/15	第59回 北海道地区大学体育大会	女子	3位
	7/8	第59回 北海道地区大学体育大会		3位
柔 道 部	8/3~8/5	第44回 全日本歯科学生総合体育大会	個人(無差別級)	優勝
			個人(66kg級)	準優勝
			団体	4位
陸 上 競 技 部	6/3	第32回 千歳JAL国際マラソン	10kmの部	優勝
	8/4~8/5	第44回 全日本歯科学生総合体育大会	個人(1500m)	準優勝
			個人(5000m)	優勝
			個人(槍投げ)	優勝
			個人(砲丸投げ)	優勝
			個人(円盤投げ)	準優勝
			総合	8位
剣 道 部	6/30	第31回 北海道医歯薬剣道大会	男子団体	準優勝
	8/18	第31回 全日本薬学生剣道大会	女子団体	準優勝
			女子個人	準優勝
			女子個人	準優勝
水 泳 部	8/7~8/9	第44回 全日本歯科学生総合体育大会	個人(200m個人メドレー)	優勝(大会新)
			個人(400m自由形)	優勝
			個人(50m平泳ぎ(新人戦))	優勝
			個人(100m背泳ぎ)	3位
			個人(50mバタフライ(新人戦))	3位

第44回 全日本歯科学生総合体育大会



(中央)陸上競技部 大井さん(優勝)



水泳部 左から、三重野さん(優勝)、大内さん(3位)



(中央)陸上競技部 房川さん(優勝)

第32回千歳JAL国際マラソンで、 歯学部5年の大井尚志さんが優勝!

平成24年6月3日に千歳市にて「第32回千歳JAL国際マラソン」が開催され、10Km種目・男子中学生～39歳の部に出場した、本学歯学部5年の大井尚志さんが見事優勝しました。大井さんは本学の陸上部に所属し、これまで全日本歯科学生総合体育大会では何度も優勝の経験がある実力の持ち主です。しかしながら、学生、社会人の枠を超えてレベルの高い選手が出場する本大会では、昨年の2位が最高でした。当日は朝からやや肌寒い天候で、昨年の優勝者も参加したなか、7～8km付近からは独走態勢を維持し見事好タイムでゴールしました。同ハーフマラソンに参加した大野理事、歯学部同窓生の江戸先生らと共に表彰式に参加し、胴上げでのお祝いしました。



本学大学院生が新菌種「ペイロネラ トウベツエンシス」 発見!(国際登録機関承認)

本学歯学部微生物学分野は、健康者の口腔から新しい細菌を発見し、当別町の名前を付けました。今般、それが国際登録機関から承認され、学名「ペイロネラ トウベツエンシス」で世界デビューを果たしました。

本学大学院歯学研究科2年生の眞島いつみさんは、自らの研究の一環として、健康な口腔状態の学生30名の舌垢を採取し、その細菌叢を解析しました。その過程で、従来報告されている細菌種とは異なる細菌の存在に気付き、その細菌の遺伝子や細胞壁等を詳細に分析、既報のそれらと比較検討し、これまでに報告されていない新しい細菌であることを明らかにしました。

そして、その細菌名に本学が立地する「当別」を付け、新菌種「ペイロネラ トウベツエンシス」として2012年2月に国際登録機関に提案、このたび2012年7月、その国際機関から新菌種「ペイロネラ トウベツエンシス」を承認すると言う審査結果が届き、細菌の分類領域で最も権威のある国際誌「International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology」に掲載されることが決まりました。

この細菌の病原性等は現在不明ですが、歯垢の初期形成に重要な役割を担うことが推定されることから、今後の眞島さんの研究進展に期待が寄せられます。

なお、上記研究を含む業績が認められ、将来歯科基礎医学分野のリーダーとなりうる全国の優秀な大学院生を対象とする「一般財団法人岩垂育英会平成24年度奨学生」に、全国の国公私立大学10名のうちの一人として、眞島いつみさんが選出されました。



嫌気グローブボックスを用いて実験中の眞島いつみさん

6/16/17

学校法人東日本学園後援会全国10支部協賛 「ニッポン全国特産品市」を開催しました。(第34回九十九祭)

6月16日(土)-17日(日)の2日間で開催された大学祭「第34回九十九祭」において、後援会全国10支部協賛による「ニッポン全国特産品市」を開催しました。

「ニッポン全国特産品市」は日本全土を網羅している後援会全国10支部から集まった全国各地の特産品、名産品、ご当地グルメ等を、全国各地から集まった在学生の手によって在学生、高校生、一般の方へ九十九祭で提供することにより、北海道医療大学の全国的なアピールとともに在学生・卒業生のかけ橋となるイベントとして立案されたもので、今年度初めて実施したものです。

当日は全国各地の特産品等をめがけて行列ができ、17日(日)は雨天にもかかわらずオープンキャンパス参加者の

高校生の姿も多く見られるなど、大盛況のうちに終了しました。また、在学生と卒業生が協働して事前準備及び出店に当たり、開催主旨である大学の全国的なアピール、在学生・卒業生のかけ橋として価値あるイベントとなりました。

「学校法人東日本学園後援会」は、在学生のご父母の皆様及び卒業生を中心として組織され、現在1万9千人を超える体制で学生生活助成、同窓会等助成等をはじめとした在学生、卒業生に対する多くの支援事業活動を推進しています。また、このたびのイベントを例とするご父母の皆様、卒業生、学園とを結ぶパイプとなる活動に加え、在学生への支援を今後も充実してまいりますので、何卒変わらぬご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

支部・所属	学部・役職等	学年	氏名
協力学生(17名)	道央 薬学部	3年	佐々木 拓也 多田 圭吾
	道東 薬学部	1年	吉田 絵里香 六沢 温菜
	道南 看護福祉学部(看護)	1年	藤田 明日望
	東北 薬学部	4年	神 一樹
		3年	山本 亮平
		2年	伊藤 史晃 川元 康寛
		1年	山本 亮平
	看護福祉学部(臨床福祉)	1年	橋本 真央 畠山 志穂 野呂 有希
		道東 薬学部	6年
	中・四国 薬学部	3年	勝原 祐樹 古賀 晃輔 佐藤 健司
支部役員(卒業生)6名	道南		崎本 祐治(業1997卒)
	東北	東北支部長	川元 裕史(業1981卒)
	関東	関東支部長	西野 郁郎(業1977卒)
	中・四国		青木 邦子(業1980卒)
		中・四国支部副支部長	勝原 聡(業1979卒)
			勝原 玲子

ご協力ご支援ありがとうございました。

7/28

学校法人東日本学園後援会 平成24年度支部長会議 開催

平成24年7月28日(土)17時30分から、ニューオータニ札幌において平成24年度支部長会議を開催しました。

会議は、三上会長、川上副会長をはじめとする本部役員8名、全国10支部から支部長9名、副支部長6名、事務局から8名が出席し、全国10支部の平成23年度支部活動状況、今年度初実施の新規事業「ニッポン全国特産品市」、平成24年度事業計画及び予算、2013年度入学試験概要等について報告がありました。

三上会長の挨拶においては、活動内容を含めた後援会の学生認知度が低い現状を踏まえ、今年度初実施した「ニッポン全国特産品市」の継続実施をはじめとした地道に学生と一緒に触れ合う機会を設け、縦のつながり横のつながりを少しずつ深めていくことが求められ、これまでの学園を後ろから支える「後援」会の姿を変え、学園の先頭に立ち、学園を引っ張っていくような「牽引」会としての役割を担う組織への移行が必要であると述べられました。また、学内への後援会掲示板の

設置提案等、支部活性化に向けた活発な意見交換が行われました。

会議後に開催した学園役員との懇親会には、廣重理事長、東副理事長、黒澤副学長、栗田常務理事、大野理事、小野理事、和田薬学部部長、有末歯学部部長、野川看護福祉学部長、中野心理科学学部長が出席し、盛会裏に終了しました。

■後援会役員

役職名	氏名
会長	三上 章(業1期)
副会長	川上 智史(歯1期)
理事	村上 睦(業5期)
理事	田中 稔泰(業3期、業同窓会長)
理事	養輪 隆宏(歯1期、歯6年ご父母、業同窓会長)
理事	芦田 眞治(歯4期、業2年ご父母)
理事	川村 武昭(看3期、看同窓会長)
理事	小畑 友希(福1期、福同窓会長)
理事	伊藤 傑(言1期、言同窓会長)
常務理事	飛岡 範至(北海道医療大学事務局長)
監事	執行 克明(歯5年ご父母)
監事	梶 美奈子(歯2期、歯同窓会長)



構成員=平成24年9月28日現在

■支部役員

役職名	氏名	連絡先
道央	支部長 多田 正人(業4期、業3年ご父母)	医療法人東札幌病院 011-812-2311
	副支部長 坂東 信(歯4期、歯1年ご父母)	坂東歯科医院 011-811-3410
道北	支部長 麻生 明(歯1期)	豊岡歯科医院 0166-32-2002
	副支部長 野田 敏宏(業1期)	(有)十二薬局 0166-23-6611
道東	支部長 辻 浩人(歯2期)	花園歯科医院 0154-22-3342
	副支部長 高橋 貢(業3期)	(株)たかはし 本部 0154-68-5455
道南	支部長 林 則幸(業1期)	八雲総合病院 0137-63-2185
	副支部長 久保田 瑞尚(歯3期)	医療法人社団くぼた歯科医院 0138-32-3232
東北	支部長 川元 裕史(業5期、業2年ご父母)	サングループ 017-764-3131
	副支部長 加藤 伸生(歯4期)	医療法人藤伸会かとう歯科医院 0172-62-6480
関東	支部長 西野 郁郎(業1期)	(有)西野自然堂薬局 0293-42-0239
	副支部長 上田 豊(歯1期)	上田小児歯科クリニック 03-3880-2831
関西	支部長 杉本 雅規(業3期)	(有)すぎもと(いちご薬局) 0761-43-1151
	副支部長 川原 大(歯1期)	川原歯科 06-6991-3188
中・四国	支部長 齊田 健一(歯1期)	さいだ歯科医院 0848-48-0014
	副支部長 勝原 聡(業3期、業3年ご父母)	広島三菱病院 082-291-2104
九州	支部長 藤井 茂仁(歯4期)	(医)ルミエール歯科 0977-24-8811
	副支部長 高階 豊晴(業3期)	(株)高階誠心堂薬局 0966-22-4633
沖縄	支部長 比嘉 保(業3期)	社会医療法人仁愛会浦添総合病院 098-878-0231
	副支部長 玉城 均(歯1期)	ながた歯科医院 098-854-1182

EDITOR'S NOTE

満点の星空に燦々と輝くオーロラ、これは夏の夜空のイメージではなく、冬の夜空のイメージです。実際には、オーロラは季節とは無関係に出現するそうですが、夏は白夜のため見えないようです。実は、昨年から今年にかけてオーロラ爆発という、カーテン状のオーロラが激しく動く様子が見えるそうです。オーロラは太陽の活動と関係があり、通常11年周期で活発に活動し、その時にオーロラ爆発がよく見えるそうです。太陽は活発に活動すると、沢山の電子を放出し、地球にも太陽風として飛んできます。その電子を地球の磁場で防いでいますが、磁場の隙間から侵入した電子は大気中の酸素や窒素と反応し、その結果、赤、緑、ピンクのカーテンのように輝くそうです。オーロラは遠く離れた太陽から飛んできてくる太陽風に果敢に戦っている地球の姿をみていくことになるのです。そんなことを思いつつ、時には夜空を眺めてみてはいいかでしょうか。

(A.K記)

ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.152

STAFF ● 増田 園子 浜上 尚也 安彦 善裕 中山 英二
 鎌口 有秀 志渡 晃一 竹生 礼子 富家 直明
 榎原 健一 杉原 佳奈 長原 利明 宮崎 隆志
 宮川 雄一 戸藤 成人

発行日 ● 2012年9月28日

編集・発行 ● 北海道医療大学広報・教育事業部 入試広報課
 〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757
 ☎(0133)22-2113
 http://www.hoku-iryu-u.ac.jp

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしております。
 E-mail:nyushi@hoku-iryu-u.ac.jp

■北海道医療大学の教育理念
 生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを本学の教育理念とする。

